『光と風が通る　木の家』　完成見学会

6月 16日（土）17日（日）AM9:00～PM5:00　雨天開催



建築地は伊雑ノ浦を望む小高いところにあり、年間を通して強風を受ける。
自然素材を多く使い、経年変化が楽しめる木の家で、なるべくエアコンを使わず、窓から光と風を入れて快適に暮らせたらという施主様の希望。
日本に昔からある木造軸組工法で、最近ではほとんどみられなくなったが、**調湿と断熱に優れ、夏涼しく冬暖かい竹小舞土壁下地**とし、外部杉板（赤身）ヨロイ張、内部珪藻土塗り仕上げ、夏の台風や冬の強風にさらされること、老後のことも考え、シンプルで力強い切妻屋根の平屋建てで、**地元の確かな技術の大工を中心に、多くの職人の技により完成された。**少し無骨なところもあり、工期も長くなったり、外壁の塗料を塗ったりメンテナンスも必要となるが環境や人に優しい。何となく違和感を覚える優れた新建材を多く使った最近の家とは違い、**日本の田舎の景色にとけ込み、気候風土にあった家。**
暮らし方や、外観、構造、耐震性、家族構成、予算、建築地の条件など家づくりは人それぞれ。各部屋に風や光が通るよう南北の窓は大きくし、家事がしやすいよう動線を考えた間取り、屋根の雨水をタンクに溜めて畑に利用したり、設計からデザイン、素材選びまで時間をかけ知恵と工夫の詰まった家づくりとなった。



伝統を守る大工の技術
上棟式の「御幣」



日本の気候風土に合った荒壁
室内の調温調湿作用に優れた働きをする



LDKは開放的な吹き抜けで、引き戸を多用
子供が汚すことを考え腰壁は杉板張り



リビングと接する子供部屋は引き戸の建具
必要に応じて空間を自由に変更可能



シンプルなステンレスキッチン
食器洗い乾燥機＋洗エールレンジフード



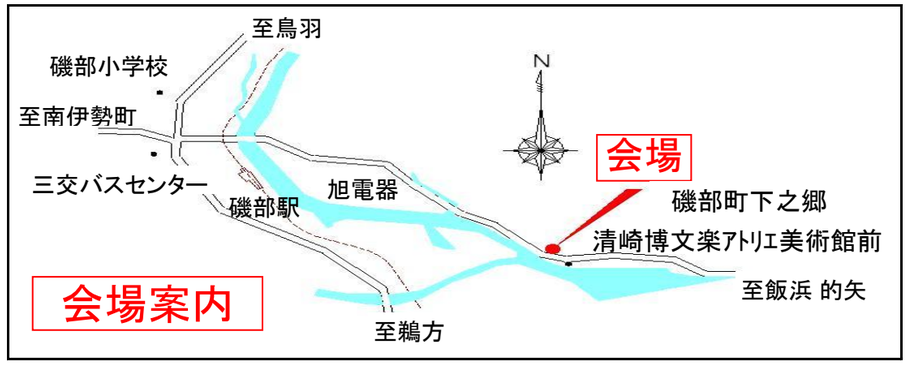
食器棚、洗面台、下駄箱は大工の作り付け



構造材は全て桧を使用 「三重の木」認証住宅
天井板、床下地はコンパネを 使わず、三重県産杉並材を利用



子供が遊べる広いウッドデッキ　屋根はガルバリウム鋼板瓦棒葺きで
ソーラーパネル取付は屋根材に穴を開けない掴み金物使用
雨戸の戸袋も外壁と合わせた



作田建設有限会社
一級建築士事務所SK企画

〒517-0207　三重県志摩市磯部町下之郷1200-1
建設業許可番号　三重県知事許可(特-22)第3705号
TEL 0599-55-0265　E-mail sakuda@amigo.ne.jp
三重県知事登録　第1-1604号